

# 埼玉・タイ王国友好協会会報

## 第19回総会・懇親会開催

### 駐日タイ王国特命全権大使講演

去る7月6日(木)に、埼玉・タイ王国友好協会の第19回総会・講演会が川越東武ホテルで開催され、約90名の出席がありました。平成28年度事業報告・同収支決算、平成29年度事業計画案・同予算案、及び役員改選の3議案が上程され、いずれも全会一致で承認されました。

総会后、バンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使に「130年に及ぶ永続的な日・タイ関係」をテーマにご講演Ⅱ2面参照Ⅱいただいたところ、出席された会員の皆さんは熱心に聞き入っていました。

今回の総会では、役員が改選され、3名の方に新役員に就任していただきました。

また、今年度も引き続きタイ王国大使館に関わる行事に協力・参加し、友好協力事業をひき続き推進していくことを確認するとともに、今年度は日タイ修好130周年にあたるため、その記念事業として、ランブーン県の学校への食堂新設、電気のない村の通学路への太陽電池式街灯の設置、山岳民族職業訓練センターへの図書寄贈の3つの事業を行うことも承認されました。

なお、講演会には、川越市から川合市長、タイ大使館から大使閣下をはじめ、参事官、職員1名、インターン生3名と多くの皆さまにご出席いただきました。また、懇親会では、タイの料理やビールを召し上がりながら会員の皆さまと懇親を深められました。

### タイ王国友好協会



▲総会で挨拶する原会長



▲総会会場の様子



▲左から川合市長、バンサーン・ブンナーク大使閣下、原会長

### 役員紹介

総会審議の結果、次の方々が役員に就任されました。(敬称略)

▽顧問  
山口 泰明 衆議院議員  
土屋 品子 衆議院議員

▽会長  
原 敏成  
武州ガス(株) 代表取締役社長

▽副会長

利根 忠博  
埼玉経済同友会 特別幹事

佐伯 鋼兵  
埼玉県商工会議所連合会会長

廣澤 健一(新任)  
埼玉県経営者協会常務理事・事務局長

▽幹事

谷内 節一(新任)  
本田技研工業(株)埼玉製作所生産業務部長

前島 静顕  
医療法人顕正会 理事長

細沼 哲夫  
日本伸管(株) 代表取締役会長

藤池 誠治  
(株)デサン 代表取締役会長

吉野 寛治  
吉野電化工業(株) 代表取締役社長

長尾 美津子  
ガールスカウト埼玉県連盟 副連盟長

小嶋 一晃  
(株)テレビ埼玉 常務取締役総務局長

島村 健  
(株)島村工業 代表取締役社長

▽監事

大塚 雅寛(新任)  
(株)丸広百貨店 総務部長

関根 勇治  
初雁興業(株) 代表取締役社長

# バンサーン・ブンナー駐日タイ王国特命全權大使講演 「130年に及ぶ永続的な日・タイ関係」



▲講演するバンサーン・ブンナー駐日タイ王国特命全權大使

本日は、総会にご招待頂き、大変光栄に存じます。協会会員の皆様より温かい歓迎を頂き、誠にありがとうございます。本日は、この一年におけるタイの政治・経済の現状、日タイ友好130周年を迎える2017年における日本とタイの協力動向についてご清聴いただければと思います。

まず、昨年10月に崩御したプミポン前国王陛下に対し、お悔やみの書状を届けて下さった会長に心より感謝致します。崩御した10月13日以降、東京にあるタイ王国大使館内に弔問記帳にいらっしゃった方は約5,000人です。多くの日本の方々から弔問の記帳をして下さいました。昨年12月1日、ワチラロンコンン皇太子殿下が新国王に即位しました。そして、今年の3月5日に、天皇后陛下がタイを訪問され、プミポン前国王陛下のご遺体に敬意を表し、新国王陛下ともご会見されました。

タイ国民は大変感銘を受けました。

日本はタイにとって第1位の投資国であり、中国に次いで第2位の貿易相手国です。また、タイ人観光客の目的地の第1位です。2013年に日本政府がビザ免除措置をとったあと、タイ人観光客は継続的に増加しています。今後は、日本とタイの関係が国家間とともに地域レベルでもますます発展し、お互い親密な関係になるよう期待しています。

2017年は、タイ政府が経済改革政策を発表して3年になります。そして、輸出産業を支えるために海外からの投資や技術移転に頼ることから、イノベーションと高度技術産業へシフトするタイランド4.0政策への第一歩となります。10種類のクラスター型特別経済開発区政策の対象産業、国境沿いの県の経済特区5県、東部経済回廊（EEC）の周辺開発及び投資奨励計画です。インフラ整備計画が完了すれば、地域の貿易、投資、運輸が劇的に変わり、重要な転機となります。

現在の政治は安定しており、現政権は日本とともに地域発展に協力できるパートナーになれるよう、国内の安定、国際競争

力を高めることを目指し、人材育成、インフラ整備、労働基準や貿易・投資の規定を時代に合うように改善し、持続的かつ強固な民政復帰へのロードマップを基に進んでいます。

今年、日タイ友好130周年の年です。両国は様々な祝賀行事を計画し、両国間の良好な関係をさらに深め、広く知ってもらうため、ロゴ・マークを募集し、東京都在住の高橋正広氏のデザインが選ばれました。象の形をしているタイ国旗と桜で飾られた日の丸を、永遠を表す無限大記号の形で相互に組み合わせること、二カ国の良好な関係がこれからも末永く続くことを表現したとのことです。

この一年を通して、両国政府は様々な協力を強化する計画を立てています。祝賀コンサートの開催、北海道札幌市内に「タイ式あずまや」を建造、日タイ経済連携協定（日タイEPA）の見直し等です。

結びに、私たち日本にあるタイ政府出先機関は、日本の地方レベルとの交流・連携を重要視しています。特に、タイへ進出している企業が200社ほどある埼玉県です。

これまで約20年近くの間、タイとの協力を推進してきた会員の皆様に深く感謝しております。タイ大使館は、埼玉・タイ王国友好協会と親密に協力していきたいと思えます。

# 奨学支援資金等授与報告

8月1〜2日、当協会会員

で現地滞在者である堀田様に、昨年度から支援を開始した生徒3名のガン・ピラカン君（パイ・ウイタヤコム校・高校2年）、シリヤー・ノイムンさん（同校・高校2年）、ボンラダー・パヤボンさん（ライチャプラチャ・ヌグロ校・高校2年）と、今年度新規支援生徒3名のチュトラット・シンゲーオさん（パイ・ウイタヤコム校・高校1年）、チャニカン・カーカムさん（同校・高校1年）、ナタウット・シンゲーオ君（ポリテクノ・ランナー・チェンマイ校・高校1年）へ奨学支援資金を授与するため、生徒が在籍する各校へ訪問していただきました。



▲左からチャニカンさん、シリヤーさん、右からチュトラットさん、ガン君



▲ボンラダーさん（左から2人目）



▲ナタウット君（中央）

各校学校職員とメンバー校のジラポン校長立ち会いのもと、支援決定通知書及び奨学支援資金を渡していただきました。

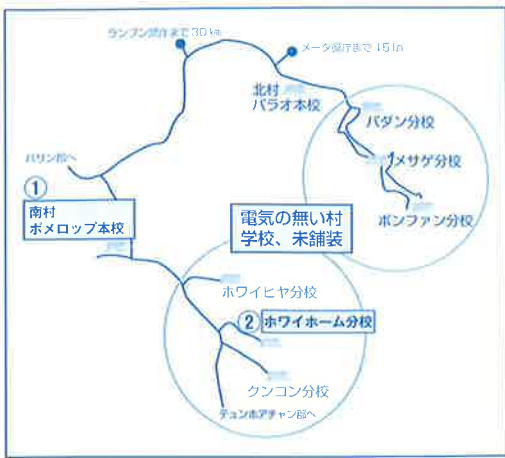
# 日タイ修好130周年記念事業

今年の日タイ修好130周年にあたるため、3つの記念事業を行うことになりましたのでご紹介いたします。

## ①ランブーン県メータ郡ポメロップ幼少中学校の食堂新設

ポメロップ幼少中学校は、1980年に作られた山岳民族のための学校で、分校を3か所持ち、181名の児童を抱えています。現在の古い木造の食堂と調理場はとても手狭で、生徒たちは交代制で食事をとっており、建物内には雨も吹き込み、机も古く傷んでいます。

この状況を解消するため、建物（調理室付き）幅7m×長さ16m、地上4.7mのコンクリート



造りの食堂を建設します。また、食堂用の机（椅子付き）12セットも寄贈します。

## ②ランブーン県メータ郡電気の無い村の通学路に太陽電池式街灯新設

メータ郡には電気の無い村が7か所あるため、第1回目としてホワイホーム村の通学路に太陽電池式の街灯5基を寄贈します。街灯は、昼間の太陽光で集電しバッテリーに蓄電、インバーターにより夜間に点灯するシステムを利用します。

## ③ランブーン県サムガム郡山岳民族職業訓練センターへの図書寄贈

ランブーン県と隣接しているランブーン県の県境に、王妃陸

下が建てられた職業訓練センターがあり、最近図書館が増設されましたが、図書はなく、現在ランブーン新電元で寄付を募っています。ランブーン新電元のボランティア事業への協力という形で、農業に関する本や、国王や仏教の教えの本などの図書購入費（約140冊分）を支援します。



0周年記念ロゴを使用し、下部に日本語で埼玉・タイ王国友好協会の名前を入れた銘板をつくり、食堂、街灯、図書ラックに取り付けます。

今回、3

つの記念事

業には、寄

贈の記念と

して、日タイ

修好130

# ポメロップ幼小中学校にて調印式

9月27日に、日タイ修好130周年記念事業として決定した3つの案件について、ポメロップ幼小中学校にて調印式が行われました。

調印式には、現地でご協力いただいている当協会会員の堀田様とタナ様、日本国総領事館の青木領事にご出席いただきました。ランブーン県からは、メータ郡のヨーティン郡長、教育局のウインユー局長、ポメロップ幼小中学校のサオワパー校長をはじめ、PTA会長や町長、建設に携わる方々が出席しました。青木領事から、日の目が当たりにくいランブーン県、しかも電気の通わない貧村の地域を見つけて出して支援決定するなどの当協会の草の根活動に対する感謝と、日タイ修好130周年記念事業として企画されたものは、管轄内では現在のところこの1件だけであるとのこと挨拶をいただきました。

サオワパー校長からは、不便に思っていた食堂の二交代制が解消されることの喜びと感謝のお言葉をいただきました。また、メータ郡副郡長、副教育局長からも感謝と今後の支援に対する期待が話されました。

堀田様からは、一日タイ修好



▲サオワパー校長（左から2番目）と覚書の取り交わり



▲食堂建設予定地にて記念撮影

130周年」を記念したプロジェクトがスタートしたことへの協会としての喜びが述べられました。

# 日タイ修好130周年

## 記念イベントに

協力しました

10月8日(日)、川越市の名細市民センターにて埼玉在住タイ人クラブ主催「日タイ修好130周年in埼玉」が開催されました。当協会もイベントに協力し、これまでの活動を紹介した写真の展示も行いました。



▲開会式で挨拶する川合市長



▲開会式での集合写真(在東京タイ王国大使館ホームページより引用)



▲当協会活動写真の展示

## 第12回タイ親善訪問のお知らせ

今年度の総会決議により、日タイ修好130周年記念事業として、学校へ新しい食堂の建設を開始しました。食堂の完成に合わせ、引渡式の参加を目的とした親善訪問を左記日程で計画いたしましたので、是非ご参加ください。

日程：平成30年2月9日(金)～2月14日(水)

訪問先：ポメロップ幼小中校(ランブーン県メーター郡)他



▲前回の親善訪問(平成27年メービン校校舎引渡式)

## 第18回「タイ・フェスティバル」



タイ王国大使館主催「タイ・フェスティバル2017」が、今年も5月13日(土)、14日(日)の両日、東京・代々木公園イベント広場で開催されました。

当協会の原会長も大使館より開会式へ招待を受け、事務局員とともに出席しました。今回は、「日・タイ修好130周年」をテーマに、日本とタイ両国の友好の歴史を振り返った展示や、プミポン前国王の業績を紹介するブース等がありました。



原会長(左)と親善大使のジェームス・ジラユさん(右)

来賓を代表して蘆浦健太郎外務副大臣がご挨拶されました。また、日本とタイ両国で活躍するジェームス・ジラユさんが親善大使に任命されました。

原会長は、来賓の皆さまとともに檀上へ上がり、テープカットを行いました。会場ではバンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使に迎えられ、交流を深めました。



▲「握手をかわすバンサーン・ブンナーク大使閣下(左)と原会長(右)」

## ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の3名です(年間1人14,400円で3年間)。  
ダルニー奨学金は、経済的貧困のため、教育の機会に恵まれないタイ・ラオス・ベトナムなどの子どもたちの中学生就学を支援する国際教育里親システムです。



ノンティニー・ホームチャイ 13歳



ヌーンタットウター・スックチット 13歳



ワランヤー・スカーード 13歳

● 今年は雨季が長かったようですが、草の根外交に相応しい日タイ修好130周年記念事業がスタートしました。来年のタイ親善訪問へのご参加お待ちしております。

(H)

● 新しい街灯が子どもたちを照らし、元気に歩く姿が目に見えます。

(O)

編集後記

埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト  
<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428  
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118  
(武州ガス(株)内)